



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 196 号 ■

入社おめでとう

4月1日(火)ファルマ弘前薬局会議室にて入社式を行いました。今年度は薬剤師の猪股愛恵さん、下山蒼生さん、事務の古川碧人さん、介護支援専門員の工藤兼紀さんの4名を正職員として迎えることができました。入社式は会場と各薬局をZOOMで繋ぎ、オンラインで様子がわかるようにしました。まず、崎野代表取締役から一人ずつ辞令が交付され、その後、新入職員へ向けて歓迎の言葉がありました。最後に新入職員4名から自己紹介を兼ねた挨拶があり、記念撮影



国家試験おめでとう！

をして終了しました。入社式終了後はオリエンテーションを行い、社史や民医連についてなど4名の講師から講義がありました。昼食後は、各職場を見学し先輩職員から温かい歓迎を受けました。



新入職員のみなさん



各職場から歓迎されました



午前中は講義を受けました

新入職員薬剤師アンケート

今年度入社された薬剤師2人に自己紹介も兼ねて、アンケートに答えてもらいました。質問はこちらの4問です

- Q1 出身地や出身大学、趣味や特技なども含め、簡単に自己紹介をお願いします
- Q2 薬剤師という職業を選んだのはなぜですか？
- Q3 ファルマに入社した動機は？
- Q4 ファルマのスタッフにひとをお願いします。

【猪股 愛恵】



Q1 岩手医科大学出身の猪股愛恵です。趣味はゲームや家庭栽培、猫と戯れることです。特技は水泳で、スポーツは高校までソフトボールをしていました。

Q2 私が幼い頃、母が薬局で事務として働いており、そのとき薬剤師さんの姿を見て、カッコいいなと思ったのが小さなきっかけでした。

Q3 大学在学中にZOOMでの企業説明会でファルマのことを知り、私もここで薬剤師として切磋琢磨したいと思い、志望しました。

Q4 私は他の新入職員よりもまだ皆さんのことを知らないのですが、趣味などありましたら、是非教えていただきたいです。私も私なりに歩み寄れたらと思っていますので、これからどうぞよろしくをお願いします。

【下山 蒼生】



Q1 4月からファルマ弘前薬局で働かせていただくことになりました、下山蒼生です。東北医科薬科大学出身です。趣味は、ドライブとカフェ・美味しいご飯屋さん巡りです。もしオススメのお店があれば教えてください！特技はテトリスで、よくSwitchでテトリスをやっています。一生懸命頑張りますので、よろしくをお願いします。

Q2 私自身、幼い頃身体が弱く、よく薬局へお薬をもらいにいっていたのですが、薬剤師さんが優しく丁寧に話してくれたことがきっかけで、私も薬剤師になりたいと思うようになりました。私も患者様一人一人に向き合い、信頼のおける薬剤師を目指したいです！

Q3 大学生のときにファルマ弘前薬局の見学をさせていただいたのですが、お忙しい中でも皆で協力しながら調剤業務や監査、投薬をしているのを見て、とてもカッコいい！と感じました。私もこんな風に働いてみたい！と思い、志望させていただきました。

Q4 慣れない部分が多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。

新入職員紹介



ファルマ弘前薬局
こがわ あおと
古川 碧人

4月1日(火)からファルマ弘前薬局で勤務することとなり、同時に新社会人となりました古川碧人です。趣味はゲームとフィギュア集めで、休日は欲しいゲームソフトやフィギュアがないか中古ショップでよく探しています。今探しているものは、甲虫王者ムシキングの



居宅介護支援事業所
ファルマ
くどう かねき
工藤 兼紀

私の前職は有料老人ホームの生活相談員でした。介護支援専門員として働くのは初めてですが、施設での業務とは異なる点多く、難しさを感じる日々

ゲームとデジモンのがフィギュアです。初めてのお仕事で右も左も分かりませんが、立派な社会人になれるよう日々精進して行く所存です。どうぞよろしくをお願いします。

これからは学び得る経験を成長の糧として積み重ね、ブラッシュアップしてより良いサービスとして還元し、延いては会社や地域貢献の一助となるように取り組みたいと思います。まだまだ力不足ですが、社内の方々が、地域の皆様のお力を借りながら、組織の一員として職責を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

制度の提案や経営について語れる事務職員へ

ファルマ弘前薬局 中西 茉季

3月28日(金)29日(土) T K P ガーデンシティ御茶ノ水で、2年ぶり2回目の開催となる民医連事務集団「3つの役割」実践交流集会に参加しました。青森県からは3名、会場には約150名の参加でした。

1日目は、はじめに企画趣旨、民医連事務集団の3つの役割についての説明、多職種型リレートークでは、看護師・医師・介護福祉士の方より事務職員との関わり方や期待することのお話を聞くことができました。その後、5つの分散会場にて実践交流集会が行われ、私もファルマの事務職員の取り組みについて発表しました。

2日目は、増田会長より「激動の日本と世界、民医連事務への期待」の記念講演でした。人間の尊厳を守る民医連でありたいというメッセージと、戦争や災害政策など人権が大切にされていない世界や日本情勢を踏まえ

た講義でした。その後、2日間の感想や各事業所の取り組みなどを班に分かれてグループディスカッションを行いました。2日間通して、改めて経営危機や日本情勢の厳しさを痛感しました。制度の提案や経営につ



参加者の皆さんと(2列目左から3人目中西さん)

いて語れる事務職員でなければ成り立たないと感じました。専門資格はないけれど、根拠をもって意見を伝えることやファルマが在籍できるようなことから学習していきたいと思います。

「他人事ではない」原発問題

藤代薬局 薬剤師 菅原 実牙樹

4月14日(月)、福井地裁元裁判長の樋口英明さんによる「原発と司法」の学習会にZOOMで参加しました。2014年の福井地裁で、樋口さんが大飯原発3、4号機の運転差し止め判決を下した理由をはじめ、原発がなぜ許されないのか、その本質や、原発容認派の弁解がいかに根拠に乏しいか等について沢山学ぶこ

とができました。特に印象に残ったのは、原発容認派の主張の無責任さです。例えば、「大飯原発の地震に限っては将来にわたり耐震設計基準を超えた地震は来ない」と主張されていましたが、何の根拠もない、何故そのように言い切れるのかに到底理解できない内容でした。

そして昨今の能登半島地震を受けて、珠洲原発が建設される予定であった地区の住民たちの反対運動がなければ、福島原発と同じことになっていった可能性があったこともお話されていました。住民の声がいかに重要か、改めて再認識させられました。この学習会を通じて、原発問題に対して「他人事ではない」と感じるようになりました。自分たちの生活に

写真紹介

3/15 津軽保健地域生活支援センターびあす わたすげの会へ出前講座

3月15日(土)、津軽保健地域生活支援センターびあすでわたすげの会主催の出前講座が「精神薬の飲み方(かかりつけ薬剤師・薬局)」をテーマに開催され、ファルマ弘前薬局の小野薬剤師が講演しました。参加者は15名でした。



大変好評でした

3/19 津軽保健木造新田支部へ出前講座

3月19日(水)、津軽保健木造新田支部主催の出前講座が「認知症を防ぐ! 今日からできる予防習慣・脳トレ体操」をテーマに開催され、ファルマツ谷薬局の西沢薬局長と本部の水木課長補佐が講演しました。参加者は19名でした。



講師の西沢薬局長

3/25 津軽保健社会保障平和委員会へ出前講座

3月25日(火)、津軽保健社会保障平和委員会主催の出前講座が「弘前市、黒石市、五所川原市の国民健康保険制度について」をテーマに開催され、本部の高松相談役が講演されました。参加者は9名でした。



真剣にお話を聞く参加者の皆さん

3/30 津軽保健浪岡支部へ出前講座

3月30日(日)、津軽保健浪岡支部主催の出前講座が「薬の正しい使い方」をテーマに開催され、ファルマ浪岡薬局の高橋薬局長が講演しました。参加者は46名で「薬を6種類以上飲むと副作用があるのか」などの質問のほか、貼り薬の上手な貼り方をレクチャーしました。



かなり多くの方が参加してくれました

青森大学就職セミナー

3月20日(木)青森大学で「青森大学薬学部合同就職セミナー2025」が開催され、ファルマ浪岡薬局の高橋薬局長とファルマ弘前薬局の佐藤薬局長補佐、本部の工藤課長補佐が参加しました。多くの薬学生に訪問いただき、会社説明のあとは薬学生からの質問に丁寧に答えました。



学生に説明をする高橋薬局長(左)と佐藤薬局長補佐(右)

小学生のわたし

ファルマ浪岡薬局 主任補佐 雪田 友莉恵

小学生の頃、私はミニバスケットボール部に所属していました。友達と遊ぶことも、家族で出かけるのも好きでしたが、バスケも同じくらい好きで毎日の生活の一部でした。練習すればするほどシュートが入る、上手くなる、結果がついてくるのが面白かったのだと思います。今でもNBAを見たり青森ワッツをみたりすることが楽しいです。

当時の監督の指導の中で、「今やるべきことを全力でしよう」とよく言われていたのを覚えています。目の前のチャンスを後回しにせずチャレンジする心を、バスケを通して鍛えられたはず……。社会人になっても、監督の言葉は通用するなあと日々感じています。自分の最善をつくす大人になっているだろうか、業務をしつつ自分を振り返ります。

バスケといたらナイキ、ナイキのジャケットを着せて子どものファッションを楽しんでいます。



お子さんのファッションを楽しんでいます

関わる問題として、今後も学び続け、声を上げていくことが必要なのだと強く思いました。